

III モデル事業と実証実験の概要

(4) 実証実験の概要

① 企画案

■ 時期

- ・ 第1回：10月24日（土）～11月1日（日）：9日間
- ・ 第2回：11月中旬～下旬（11/21～29を想定）
- ・ 時間：10：00～19：00

■ 実験パターン案

プレ) 休憩・飲食等の場としての活用：可動椅子（一人掛け・ベンチ）…8月下旬

- ・ 現在大街道では座るところが少なく、滞留行動が起きにくい空間となっている。
- ・ 可動椅子の可能性を最大限に生かすことで滞留を効果的に生み出す。
- ・ 直線的で単調な大街道の空間に変化を与える。⇒[日建設計総合研究所の自主事業にて実施済](#)



第一回) くつろぎ・子どものあそび場としての活用：芝生…10月下旬

- ・ 大街道に領域性をもった新しい空間を生み出すうえで、舗装面や天井面に変化をもたらすことが重要。
- ・ 芝生の床面は、裸足となったり、地べたに座って食事をしたりなど、新しい体験を提供できる。
- ・ 合わせて座り場も含めて設置し、相乗効果を図る。⇒[第1回目 実験内容案](#)

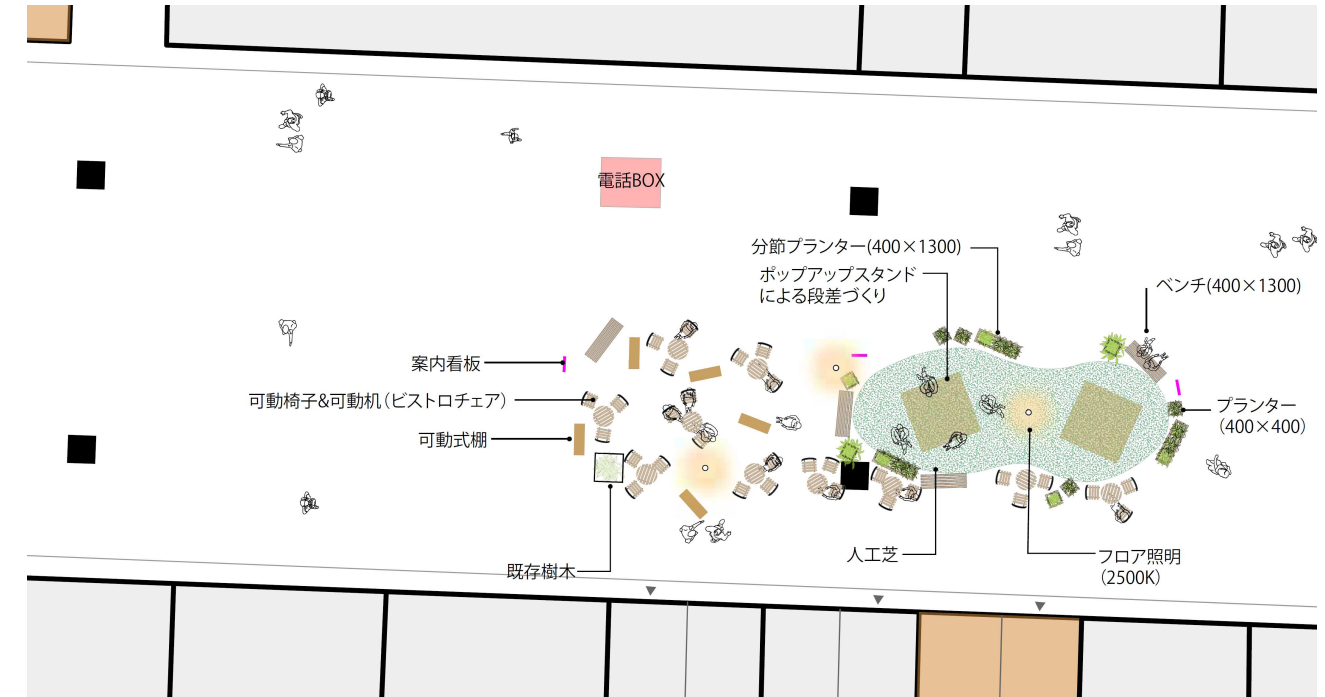


第二回) 展示・情報発信の場としての活用：本棚・立て看板等…11月下旬

- ・ より能動的・また短時間に人が来訪する目的となるようなコンテンツを持ち込み、可能性を検証する。
- ・ 立て看板などの企画展示のより効果的な置き方や配置、コンテンツの内容などを実験し、公共空間での新しい価値提供や情報発信のきっかけを探ります。⇒[第2回目 実験内容案](#)



実験計画案 平面図



② 効果検証

■ アンケート調査

テーブル上に用紙をおいて、来街目的や属性等基本情報・自由記述をアンケート利用者属性・リピーター率・また使いたいと思うか等で、利用者にとって必要かどうかを評価

■ かかる費用・問題点・販わい貢献を分析

実証実験実施後に評価を行う。

⇒ [実験パターン案の効果や分析を行い、公民一体型空間形成モデルに反映を行う。](#)

(5) 今後の流れ

- ・ 実証実験を2回開催予定。（本ページ左上）
- ・ 専門部会を12月頃・3月頃の計2回開催予定。
- ・ フォーラムを12月頃に開催予定。

⇒ 次回専門部会までに、実証実験結果を踏まえ、公民一体型空間形成モデルの深度化を進めていく。